

7月保健ガイド

母子保健・予防接種

問 子ども家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
親子健康手帳交付	8日(月) 10:00 集合 29日(月) 13:30 集合	妊婦
保健センター ママパママ教室(1回目) ※定員9組	12日(金) 10:00開始～ 11:00終了予定	主に妊娠6か月頃までの初妊婦とそのパートナー
ママパママ教室(2回目) ※定員6組(平日) 9組(土日)	8日(月) 13:15受付～15:30終了 21日(日) 9:15受付～11:30終了	主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
離乳食教室	19日(金) 10:00～11:15	主に第1子(4～5か月)をもつ保護者(乳児同伴可)
妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は保健センターへ連絡してください)	妊婦(訪問は妊娠中1回)
こんにちは赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前	すべての赤ちゃんとその保護者
のびのび 計測日	保健センター 5日(金) 南児童館 16日(火)	未就園児※1医師の診察はありません ※親子(母子)健康手帳・乳児の場合は バスタオル
妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で 受診してください	妊婦と産後1年未満の産婦
市内委託医療機関で予約		
予 ロタウイルス	対 1価ワクチン 出生6～24週 5価ワクチン 出生6～32週	
予 B型肝炎	対 生後1歳未満	
予 ヒブ、小児用肺炎球菌	対 生後2～60月に至るまで	
予 4種混合、5種混合	対 生後2～90月未満	
予 BCG	対 生後1歳未満	
予 麻しん・風しん混合(MR)	対 第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予 水痘	対 生後12～36月未満	
予 日本脳炎	対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予 二種混合	対 11～13歳未満	
予 HPV 2価・4価・9価	対 小学6年生～高校1年生の女子 ※2025年3月末までキャッチアップ接種を実施しています	

成人保健・予防接種

問 健康推進課 ☎63-3300

市内委託医療機関で予約		
予 高齢者肺炎球菌	対 65歳の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能などに障がいがある人	
予 特定健康診査 がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)	4日(木)、25日(木)、 26日(金)、31日(水)	市国民健康保険加入者で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予 集団がん検診 (肺・胃・大腸・前立腺)	1日(月)、24日(水)、 27日(土)、30日(火)	市国民健康保険加入者以外で40～74歳の人(検診によって対象制限あり)
予 個別特定健康診査	10月31日までに市内委託医療機関で受診してください。※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。	市国民健康保険加入者で40～74歳の人
予 後期高齢者医療健康診査		後期高齢者医療制度加入者
予 個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺)		40歳以上の人(検診によって制限あり)

<任意予防接種助成> 対象者のみ風しんワクチン、带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します。

その他お知らせ

納期限(7月31日)

税 目	納 期	問合先
固定資産税・都市計画税	第2期	収納課 ☎56-0610
国民健康保険税	第1期	
後期高齢者医療保険料	第1期	保険医療課 ☎56-0617

□座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、前日までに残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555

診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問い合わせください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。

ドクターからあなたへ

ヒトパピローマウイルス(HPV)はさまざまながんの原因ウイルスですが、2006年にワクチンが開発されて、子宮頸がんをはじめとするいくつかのがん発生を防げるようになりました。子宮頸がんは、初期の自覚症状に乏しく自分では気づきにくい病気です。20代にも多く、30代までの子宮頸がんの治療で子宮を失ってしまう方が1年間に約1,000人います。小学6年～高校1年の年代に打つのが効果的で、長久手市在住の当該年代の女性は公費でHPVワクチンの接種が可能です。

子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)接種について

まみレディースクリニック 荒井 麻実

打つ機会を逃してしまった平成9～19年度生まれの女性には、HPVワクチンを公費で接種できるように取り計らいされています。ただ、その特別措置は今年度で終了してしまいます。自費で打つと3回の接種が10万円弱かかる高価なワクチンです。3回全部打ち終わるのに半年の期間が必要なため、今年9月までに初回を打つことが必要になります。親子(母子)健康手帳を確認の上、お急ぎください。